

氏名	おさやま ともこ 荻山 朋子
学位の種類	博士（薬学）
学位記番号	乙第 50 号
学位授与の日付	平成 30 年 3 月 26 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 2 項該当
学位論文題目	脂質異常症治療薬を指向した可逆的ホルモン感受性リパーゼ阻害剤の合成研究
指導教員	教授 高橋 秀依
論文審査委員	主査 教授 高橋 秀依 副査 教授 山下 純 副査 教授 出口 芳春 副査 教授 忍足 鉄太 副査 教授 杉山 亨

論文審査結果の要旨

I. 学位論文審査合否判定理由

荻山氏は、可逆的ホルモン感受性リパーゼ (HSL) 阻害に基づく低分子の新規脂質異常症治療薬の創出を目的として研究を展開した。既知の HSL 薬の化学構造と薬理活性の相関性を十分に検討し、新たに 2-アルコキシ-5-トリフルオロメチルピリジン環とフェニルボロン酸を適切なリンカーによって連結した化合物を分子設計・合成した独創性は素晴らしい。特に、ボロン酸を有する化合物はその物理的・化学的特性が医薬化学分野において大変注目されており、薬理活性、毒性や動態の改善をめざした点も含め、高く評価される。本論文に記された成果は、脂質異常症に関わる新薬の創製に携わる多くの研究者に有益な情報を与えるものである。荻山氏は自ら実験に真摯に取り組み、有機合成化学や医薬化学だけでなく、代謝化学や薬理学など周辺の分野について十分な知識を有し、高い能力を有する研究者である。論文の記述は正確かつわかりやすくまとめられており、筆頭著者として 3 つの論文が報告されている。審査会での発表内容や的確な応答から、荻山氏が本研究において主導的な役割を果たして来られたことは明らかである。

以上のように本論文は学位論文として必要な要件を満たしているので合格と判定する。副査の先生方の審査も一致して合格と判定されており、論文審査を合格とする。

II. 最終試験（学位論文に関連する専門的知識, 理解力等）合否判定理由

1. 専門的知識

理学系大学院（博士前期課程）で有機化学を専攻・修了した後、企業（第一三共株式会社）で一貫してメディシナルケミストリー研究に従事してきた。有機化学を基盤にし、これまでに新薬の創製を目指して、いくつかの疾患領域での生理活性化合物の探索研究に携わっており、有機化学（合成・理論）はもとより、薬物動態、薬理学（生物活性）などの知識も十分に有している。本研究も、それらの専門知識を活用して、主担として研究をリードしてきたと判断される。論文内容に関する質疑応答も明快であった。

2. 基礎的知識

博士に値する基礎学力（薬学分野における基礎学力）を有している。また、語学力についても、筆頭著者として投稿された論文の記述から十分なものと考えられる。

副査の先生方の審査も一致して合格と判定されており、最終試験を合格とする。